



上位20名 成績表

順位	OUT	IN	グロス	HDCP	NET	
1	森本 宏	45	42	87	14.4	72.6
2	竹田 雅幸	44	41	85	12.0	73.0
3	中村 方應	52	48	100	26.4	73.6
4	田中 義人	40	40	80	6.0	74.0
5	森元 泉	50	53	103	28.8	74.2
6	荒武 貞雄	50	46	96	21.6	74.4
7	柏木 行道	41	51	92	16.8	75.2
8	佐々木恒己	48	44	92	16.8	75.2
9	佐々木 茂	51	45	96	20.4	75.6
10	池部 亨	44	49	93	16.8	76.2
11	人見 亨	52	46	98	21.6	76.4
12	南 仁秀	44	45	89	12.0	77.0
13	小西 康仁	53	47	100	22.8	77.2
14	平田 俊男	47	46	93	15.6	77.4
15	田中啓一朗	50	52	102	24.0	78.0
16	村上圭太郎	50	50	100	21.6	78.4
17	稲部 勝博	45	40	85	6.0	79.0
18	荒 大輔	57	58	115	36.0	79.0
19	林田 集	54	59	113	33.6	79.4
20	前田 修	45	49	94	13.2	80.8



第140回大阪早稲田倶楽部ゴルフコンペが3月5日、美奈木ゴルフ倶楽部(兵庫県三木市)において開催されました。当日は風も弱く、厳しい冬の寒さからも解放され、3月上旬にしては温かい気候に恵まれる条件のもと、28名が参加されました。

優勝は森本宏さん(昭60年法)。アウト45、イン42のトータル87、ネット72.6のスコアで、人見亨理事長(昭45年理工)から優勝カップを贈られ、満面の笑みでした。

今回より部会長は

第140回 倶楽部ゴルフコンペ

石戸稔さん(昭55年法)に代わって新たに稲部勝博さん(昭60年商)が就任されました。

「関西文化演劇研究会」結成

倶楽部員が趣味の活動などを通して交流を図る部会に、新たに「関西文化演劇研究会」が加わることになり、3月の理事会で承認された。

今年1月に校友会創立125周年記念事業として校友会大阪府支部で文楽観劇会を開催し、好評を得たことから、今後文楽をはじめ、歌舞伎や能、宝塚歌劇など関西が誇る演劇の鑑賞会や勉強会などを企画、実施していくとの機運が高まり、部会結成の運びとなった。会の趣旨には、会員諸氏と関西の演劇を広く鑑賞し、会員相互の親睦をはかり、関西(上方)文化発展に寄与することを目的とする」と掲げた。

4月の国立文楽劇場(天保)で、



Wフォーラム てくてくハイキング

時枝奉之(昭45年院・理工研)



三上山頂上

一富士、二鷹、三茄子(なすび)は初夢で見ると縁起が良いとされています。1月は縁起をかついで初富士登山としました。富士山の高くて均整のとれた雪をいただいた秀麗な姿は見る人に感動を与えます。静岡県まで行かなくても、日本には〇〇富士と呼ばれる郷土富士が約200あり、滋賀県の近江富士と呼ばれている三上山に登

ることになりました。三上山は上り東海道新幹線が野洲付近を走っている時に、右側に見える小さな可愛い山です(432m)。三上山の生い立ちが、地殻が沈降して琵琶湖が出来た時に、硬い岩石の山体が浸食に耐えて残った残丘です。

今日の温泉は野洲駅前のスーパー銭湯「ほほえみ乃湯」です。参加10人なので割引の回数券を買うために、砂川さんが取得した会員証が後で役に役立つとは思ってもよらなかった。レストランでは料理は自動販売機で食券を購入してカウンターで受け取る方式なので、先に1人3千円を集めて積み上げて置き、食券を買う都度この中から取る様にした。スーパー銭湯内のレストランなので豪華なメニューは無いが、値段は安くその上、砂川さんの会員証で大幅な割引となるので、せっせと飲み食いしても積み上げたお金もなかなか減らない。遠慮して大騒ぎは出来なかったが、その代りお腹が満腹になった。



賤ヶ岳頂上

2月は羽柴秀吉と柴田勝家の古戦場として知られている賤ヶ岳。今冬後半の豪雪の影響でハイキングの領域を超えた悪戦苦闘の雪中登山となり、参加の皆様には、記憶に残る登山となってしまいました。

余呉に近づくとつられて豪雪の名残の雪景色となり少し心配になってきた。降りてみると道路は除雪してあるので雪はないが、その他は厚い雪に覆われている。国民宿舎から登山道に入る

登山道の2コースがあり、距離は長いが緩やかな裏登山道を選んだ。

この山は信仰の対象でもあり、頂上には鳥居と小さな祠がある。頂上では休憩しただけで下山。頂上付近には一部雪が残って歩き難い所もあったが、花緑公園には正午過ぎに着いて登山はこれで終了。標高が低いと2時間35分で楽に終わった。花緑公園でゆっくり昼食を摂り、綺麗に整備された薄らと雪の残る遊歩道を踏みしめ、隣の希望が丘文化公園のバス停からバスで野洲駅へ。

んだ幅30cm程度の雪道の雪は縮まっているが、少しでも外すと雪面を踏み抜いて雪の中にはまり込む。最初のうちは問題なかったが登るにつれて雪が深くなり、膝まではまり込む様になって「ちこちで「うわー」と叫び声上がる。注意して歩いても頻りに雪面を踏み抜くので時間が掛かり、行程がはかどらない。

無雪期なら40分の行程を、豪雪の中では2.4倍の1時間35分かけてやっと頂上着。昼食のあと、雪に覆われた周囲の山々の綺麗な景色を楽しんだ。

歩いているため足跡が分散して雪が踏み固められていないので、雪面を踏み抜く回数が増した。防水性が低いハイキングシューズを履いている人は、水が入って靴の中はビチャビチャになっている。林道に出てもガードレールの高さまで雪が積もっており、少しも楽にならない。結局雪から解放されたのは、除雪したアスファルトの道路に降りた時であった。雪がなければ3時間30分で歩くコースに、2倍近い6時間12分を要している。皆様お疲れ様でした。

1月22日..初富士..三上山・近江富士

野洲駅↓登山口↓打越↓頂上↓近江富士花緑園↓希望が丘文化公園↓ほほえみ乃湯・野洲駅

2月19日..賤ヶ岳・雪中登山

余呉駅↓国民休暇村↓賤ヶ岳頂上↓東尾根↓余呉駅↓京都駅↓九重湯↓見聞録